



広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

新春特番 知事対談

ゲスト:高杉良氏(作家)

1月1日(祝) 10:00・(再)3日(水) 16:30

県議会新春特番 尾崎議長ふるさと対談

ゲスト:佐々木芽生氏(映画監督)

1月1日(祝) 10:30・(再)3日(水) 17:30

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:30

1月14日 わかやまジビエを味わおう!

1月21日 謎解き モバイルスタンプラリー

1月28日 知事と語る

県民チャンネル 月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

※1月は放送がありません。

ラジオ 和歌山放送 WBS

新春特番 知事対談

ゲスト:高杉良氏(作家) 1月1日(祝) 9:10

県議会新春特番 尾崎議長ふるさと対談

ゲスト:佐々木芽生氏(映画監督) 1月1日(祝) 10:10

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00

※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40~16:00

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

国際博覧会を大阪・関西へ!

大阪・関西での2025年国際博覧会の開催をめざし、関西広域連合の一員として、和歌山県でも誘致に取り組んでいます。万博誘致を実現するため、ぜひとも誘致委員会会員への登録をお願いします。



問:2025日本万博博覧会誘致委員会事務局

☎06-6944-6573 expo2025

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



観客民主主義

政治評論家として高名な篠原文也さんのお話の中に出てきた言葉ですが、本当にそうだなあと思ったので、頭に残りました。

民主主義で大事な事は、すべての人が参加するところにあると思います。その参加の最も重要な手段が選挙であり、投票であるわけですから、我々は最も良いと思われる候補、政党を投票で選ぶ権利とともに義務があります。そして、選んだ責任もあるわけです。

ところが、日本で現実起こっていることは、すぐに流行の政治家や政党がえらい人気を博し、みんながスターを見るように熱狂し、そして時間が経つと、もう飽きたとでも言うように嫌ってしまうという現象です。

考えれば、これは、舞台の上で歌や踊りを演ずるタレントや俳優を見るものの見方でしょう。舞台上と観客とは完全に別個の存在で、人々は見物に飽きたら劇場を出て行き、気の向くまま、また別の人々が演じている劇場に観客として赴くという仕掛けです。観客民主主義と言われる所以です。

最近の政治に対する我々日本人の関わり方を見てみると、まさにこの観客民主主義そのものです。あの人が気に入った、この人が嫌い、あの党が人気、この党はやはり廃れ。まさに観客が舞台を見ているが如きです。でもこれは如何なものでしょうか。舞台上のことに違っていて、現実の政治は我々全体の生活に繋がることなのだから、好きだの嫌いだのと言っているのではなく、我々は、民主主義の担い手として選挙を通じて我々の生きる道を選択しなければならないのです。責任があるのです。

観客民主主義の典型的なフレーズは、大分前の政権交代期の選挙の時によく言われ、マスコミなどで拡散した次の言葉です。「〇×党には、そろそろお灸を据えてやらねばならない。」これは観客に徹した人々だけが遠慮なく言える言葉ではないでしょうか。観客民主主義にすっかり浸り、余韻に浸りつつ劇場を出てきた観客が目にする光景が、すっかり変わってしまって、廃れ切ったこの国や地域であったというようなことがあってはなりません。

和歌山県知事 仁坂 吉伸